

社会福祉士(専門科目) 模擬問題① 解答一覧

2006 年 8 月 16 日作成

(2006.9.30 音声読み上げ可)

老人福祉論

1	1	○
2	2	○
3	3	○
4	4	○
5	5	× 設置には事前届出が必要である
6	6	○
7	7	○
8	8	○
9	9	× 5 人以上ではなく 10 人以上である
10	10	○
11	11	○
12	12	○
13	13	○
14	14	× アルツハイマー病ではなく脳血管性認知症である
15	15	○
16	16	× 市町村は義務,「都道府県は置くことができる」規定である
17	17	○
18	18	× 市町村又は市町村長ではなく都道府県知事である
19	19	× 「2 年以上従事した者」という規定はない
20	20	× 2000 年ではなく 1987 年である
21	21	○
22	22	× PFI 法ではなく WAC 法である
23	23	× WAC 法ではなく PFI 法である
24	24	× 9 割ではなく 7 割(71.2%)である
25	25	× 「高齢者雇用安定法」は 1971 年に制定された
26	26	× 「無料の職業紹介事業を行うこと」ができる
27	27	○
28	28	× 70 歳ではなく 65 歳である

障害者福祉
論

29	29	○
30	30	○
31	31	× 初めて 20%を超えた(20.04%)
32	32	× 男女が逆である
33	33	○
34	34	× ①②共に 70 歳ではなく 75 歳である
35	35	○
36	36	× 都道府県でなく市町村である
37	37	○
38	1	○
39	2	○
40	3	○
41	4	× 約 6%程度である
42	5	× 1950 年代ではなく 1970 年代である
43	6	○
44	7	○
45	8	○
46	9	○
47	10	○
48	11	○
49	12	○
50	13	× 1971 年ではなく 1975 年である
51	14	× 1981 年ではなく 1982 年である
52	15	× 1990 年ではなく 1993 年である
53	16	× 1975 年ではなく 1971 年である
54	17	○
55	18	× 5 年を経過したときは, 時効によって消滅する
56	19	× 身体障害者療護施設等の入所者は対象外である
57	20	○
58	21	× 「成年後見登記制度」が新たに設定された
59	22	○

児童福祉論

60	23	× 委任は「財産管理, 福祉サービス利用契約など」であり, 「死に方を選ぶなどの委任」はできない
61	24	○
62	25	○
63	26	× うつ病関係と統合失調症が逆である
64	27	× 約 28% (約 12 万 9900 人) である
65	28	× 約 61.8% (約 20 万 4000 人) である
66	29	○
67	30	○
68	31	× 知的障害者の定義の規定はない
69	32	× 「長期にわたり」ではなく「継続的に」である
70	33	○
71	34	○
72	1	○
73	2	× 下回っていない (106 万人)
74	3	○
75	4	× 韓国 1.08, 日本 1.25 である
76	5	× 国際連盟ではなく全米会議である
77	6	○
78	7	○
79	8	× 「国・地方公共団体は, 児童の保護者とともに」と規定されている
80	9	× 「男女共同参画の推進」ではなく, 「平等・開発・平和」である
81	10	○
82	11	○
83	12	○
84	13	○
85	14	○
86	15	× 男女別の収容ではなく混合収容である
87	16	× ハナマル学園ではなくマハヤナ学園である
88	17	× 「児童の権利に関する条約」ではなく「児童の権利に関する宣言(児童権利宣)」である

社会福祉援助技術	89	18	○
	90	19	○
	91	20	× 本条約の発効で、特に法令等の改正の必要はないとされた
	92	21	× 保育士でない者は、保育士又はこれに紛らわしい名称を使用してはならない
	93	22	○
	94	23	○
	95	24	○
	96	25	× 「心身ともに健全」であれば可能である
	97	26	○
	98	27	○
	99	28	× 四親等以内ではなく三親等以内である
	100	29	○
	101	30	○
	102	31	○
	103	32	× 1995 年ではなく 1994 年である
	104	1	○
	105	2	○
	106	3	× KJ 法ではなくデルファイ法である
	107	4	○
	108	5	○
	109	6	○
	110	7	○
	111	8	× 「無意識の領域」という精神分析には介入しない
	112	9	○
	113	10	○
	114	11	× パールマンではなくパートレットである
	115	12	○
	116	13	○
	117	14	○
	118	15	○
	119	16	○

120	17	○
121	18	× 1990 年代ではなく 1950 年代である
122	19	○
123	20	× ブッシュマンではなくパールマンである
124	21	× レイン報告ではなくシーボーム報告である
125	22	○
126	23	○
127	24	○
128	25	○
129	26	× 機能主義ではなく行動主義である
130	27	○
131	28	× ADL と QOL が逆である
132	29	× 「ワーカー自身」ではなく「専門職」である
133	30	○
134	31	○
135	32	× コノプカではなくリッチモンドである
136	33	○
137	34	○
138	35	× 1940～1950 年代である
139	36	× 「医学モデル」ではなく「生活モデル」である
140	37	○
141	38	○
142	39	× サービス提供者側ではなく利用者側である
143	40	○
144	41	○
145	42	○
146	43	○
147	44	○
148	45	○
149	1	○
150	2	○
151	3	× 「残っている機能・・・支援する」と「失った機能・・・目を向ける」が逆である

介護概論

152	4	×「高齢者の自立」を阻む原因となる
153	5	○
154	6	○
155	7	×アルツハイマー型認知症ではなく脳血管性認知症である
156	8	○
157	9	○
158	10	○
159	11	×「老眼鏡の使用」ではなく「老人性白内障」の対応が必要である
160	12	○
161	13	○
162	14	×業務独占ではなく名称独占である
163	15	○
164	16	○
165	17	○
166	18	×経口感染ではなく血液感染であり、使い捨てでなくてよい
167	19	○
168	20	○
169	21	×所要量に満たない
170	22	×「認知症高齢者介護」ではなく「終末期のケア」である
171	23	○
172	24	○
173	25	○
174	26	×後方からではなく視線を合わせながら話すことが大切である
175	27	○
176	28	○
177	29	○
178	30	○
179	31	×水分補給ではなく補液である
180	32	○
181	33	○